

## 地域住民の要望に応じて自主的避難所 開設

令和3年7月29日(木)、隣接する鷹巣地区や棗地区については、午前7時40分頃、福井市から避難指示が発令され、各地区の小学校等に避難所が開設されましたが、その時点では国見地区に対しては福井市からの指示はありませんでした。国見地区でも、雨はますます勢いを強くしている状況でした。



全館の照明点灯、公民館開放をアピール

ところが、同じ頃、鮎川町のあるご一家から公民館長に申し出があり、公民館に避難したいとのことでした。そこで、国見地区自主防災組織連絡協議会の会長でもある自治会連合会長と協議し、地区住民の要望を受け入れ、直ちに公民館を避難所に開放することを決定し、地区内有線放送でその旨を周知しました。



公民館と避難者の自家用車

このご一家は、十数年前に自宅前の山林の土砂崩れがあり避難勧告を受けた経験のあることから、早めの対応が重要であることを十分に理解していたとのことでした。そのご一家は午前8時頃、4名で公民館に避難して来ました。

その後も、国見町のお年寄りや、白浜町や大丹生町のご家族等も公民館に避難して来て、最大で27名の方が大雨の勢いの収まる午後まで、公民館に避難していました。

**これからも、もし万が一、今回のように地区民が身の危険を感じる大雨が降った際には、福井市からの避難指示を待たずに、早めに公民館を避難所として開放したいと考えています。少しでも身の危険を感じるようなら、遠慮せずに、公民館か自治会長まで、ご連絡ください。早朝や深夜でも、早めの対応をいたします。**

## ボランティアスタッフの自主的参加

また今回、避難所開設を知った一部の地区民で、「避難所運営に協力したい」と自主的に参集していただいたボランティアスタッフが約10名いて、お昼の炊き出しや飲み物の配布等を手伝っていただきました。公民館職員だけではとても対応できない状況だったので、非常に助かりました。心から感謝申し上げます。